

甲状腺検査 甲状腺検査 本格検査の結果

最新の調査結果： <http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/kenkocoyosa-kentoinikai.html> ^

一次検査結果

平成27年12月31日現在

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		判定率 (%)	結果判定数 (人)			
		受診率 (%)	うち限外 受診		判定区分別内訳(割合(%))			
					A 1	A 2	B	C
合計	381,261	236,595 (62.1)	12,439	220,088 (93.0)	89,565(40.7)	128,704 (58.5)	1,819(0.8)	0 (0.0)

A判定 99.2%

結節・のう胞の人数・割合

	結果確定数(人)	結果確定数に対する結節・のう胞の人数 (割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上	5.0mm以下	20.1mm以上	20.0mm以下
合計	220,088	1,811 (0.8)	1,302 (0.6)	6 (0.0)	129,326 (58.8)

B判定 0.8%

※5.0mm以下、20.0mm以下であっても、甲状腺の状態によってはB判定となる場合もある。

二次検査結果

平成27年12月31日現在

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		確定率 (%)	結果確定数(人)			
		受診率 (%)			次回検査		通常診療等	
					A 1	A 2	うち細胞診受診者	
合計	1,819	1,172 (64.4)	1,087 (92.7)	40 (3.7)	252 (23.2)	795 (73.1)	157 (19.7)	

【細胞診結果】

悪性・悪性疑い 51人(手術16人:乳頭がん16人)

男性:女性 21人:30人

平均年齢 16.9±3.3歳(10-23歳)、震災当時12.9±3.3歳(6-18歳)

平均腫瘍径 9.9±4.6mm(5.3-30.1mm)

第22回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

2巡目の検査である本格検査の途中結果を示します。

一次検査でA判定は全体の99.2%、B判定は0.8%、A2判定の大半は20mm以下ののう胞、B判定の大半は5.1mm以上の結節、という傾向は、現時点では先行検査と同様です。

二次検査においても3人に1人はA判定相当として、一次検査のA判定者同様、次回、3巡目の検査の受診をお勧めしているのも先行検査と同傾向が似ています。157人が穿刺吸引細胞診の結果、51人の方が悪性、悪性疑いとなっています。

本資料への収録日：平成28年3月31日